

目次

可決した主な議案等の概要 … 1P

決算審査特別委員会の審査の概要… 2P

常任委員会の審査の概要… 2～3P

一般質問・通告要旨 …… 3～5P

表決結果一覧 …… 6P

とうがね 市議会

だより

第186号 令和3年2月1日
 発行 東金市議会
 編集 議会報編集委員会
 東金市東岩崎1-1
 TEL.0475-50-1181



現在、市議会では議会改革の一環として、タブレット端末導入に向けた協議や研修会を実施しています。
 (写真：11月9日に実施された山武市への視察)

議会のICT化やペーパーレス化を目指して

令和2年第1回東金市議会臨時会は、11月27日に開かれました。
 本臨時会では、市長提出の2議案が可決されました。

令和2年第1回東金市議会臨時会

東金市職員の給与に関する条例及び東金市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定など2議案を可決

令和2年第4回東金市議会定例会 令和2年度一般会計補正予算や東金市基本構想の策定についてなど17議案を可決

可決した主な議案の概要

- 東金市基本構想の策定について** [第1号議案]
 現行の東金市第3次総合計画が令和2年度をもって計画期間が終了することから、新たなまちづくりの指針となる東金市第4次総合計画における「東金市基本構想」を策定するため、「東金市基本構想を議会の議決とすべき事件として定める条例」第2条の規定により、議会の議決を求めるもの。
- 東金市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について** [第3号議案]
 東金市立源小学校を廃止するに当たり、関係規定について所要の改正を行う必要があることから「東金市立小学校設置条例の一部を改正する条例」の制定について、議会の議決を求めるもの。

可決した主な補正予算の概要

- 令和2年度東金市一般会計補正予算(第9号)** [第17号議案]
 国の令和2年度補正予算(第2号)にて決定した「ひとり親世帯臨時特別給付金」の支給対象者に対し、1世帯当たり5万円、第2子以降1人につき3万円を再支給するため、既定の予算額264億8,377万9千円に歳入歳出それぞれ4,357万円を追加し、予算の総額を265億2,734万9千円としようとするもの。

可決した主な発議案の概要

- 病院運営の適正化に関する調査特別委員会の設置について** [発議案第1号]
 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの運営に関する匿名による告発文が議員等へ送付されたことを受け、市当局による調査が行われ、その結果報告がなされたが、関係規定を逸脱した運営などが指摘され、適正な運営がなされていないことが明白であることから、本地域に必要なこの病院が、市民目線においても健全で適正な運営がなされることを促すことを目的として特別委員会を設置するもの。(委員数:12名)
- 調査事項
- 1) 現状における設立団体による調査結果の報告において疑問が残る事項や妥当性に欠ける事項について、調査権限の範囲内において調査すること。
 - 2) 病院経営が厳しい中で、今後踏み込んだ経営の改善が求められている中で、設立団体の今後の調査結果の報告を求めると共に、必要に応じ調査すべき事項を設立団体に要望すること。

令和2年第4回東金市議会定例会は、12月1日から17日までの17日間の会期で開かれました。
 本定例会では、市長提出の16議案と追加議案1件は全て可決され、継続審査となっていた令和元年度各会計決算認定9議案については、8議案が認定され、1議案が不認定となりました。

また、議員提出の発議案3件は全て可決されました。
 なお、上程された陳情3件のうち1件は採択、2件は不採択となりました。

一般質問では、代表質問を2会派2名、関連質問を7名、個人質問を7名が行い、市政全般についての議論が行われました。



次回の定例会

令和3年第1回定例会は、2月5日(金)午前10時から開会される予定です。また、請願・陳情の提出期限は、開会日の1週間前までと定められております。詳しくは議会事務局まで TEL.0475-50-1181

各会計決算審査特別委員会での主な質疑

第5号議案

令和元年度東金市一般会計決算の認定について

問 ふるさと納税に関して、令和元年度の場合は市外の方からの寄附額と他市町村への流出額が同程度とのことであるが、ふるさと納税をこれから増やしていくに当たってどのような取り組みを考えているか。

答 多くの方の目に触れる機会を増やす目的で、ふるさと納税のポータルサイトを増やすことなどを行っている。また、返礼品の種類を増やすということも重要であると捉えており、いろいろな機会を通じて取り組んでいくが、種類を増やすという点に関しては、事業協力者の理解も得ながら、より良い方法の検討をしていきたいと考えている。

問 プレミアム付商品券販売業務委託料で、5,500万円ほどの不用額が出ているが、その理由は。

答 対象者が住民税非課税者及び子育て世帯の世帯主であり、全体で1万1,500人であった。対象者全員が5冊ずつ購入できる予算を計上し、全体で5万7,500冊を見込んだが、販売実績が1万3,468冊で、販売予定数の約23.4%であったことが不用額の発生した理由である。

第6号議案

令和元年度東金市国民健康保険事業特別会計決算の認定について

問 保健事業費の短期人間ドック補助事業と、特定健診事業との住み分けをどのように考えているのか。

答 市は保険者として、法的に特定健診を行わなければならない規定がある。また、短期人間ドックには特定健診に含まれない検査を選択することができ、そのような検査を希望される被保険者も少なく無いことから、短期人間ドック補助事業を行っている。どちらか一方が良いのではなく、まずは健康に対する関心を持っていただきたいところであり、基本的には被保険者自身で決定してほしいと考えている。

第7号議案

令和元年度東金市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

問 後期高齢者医療保険料の収納済額が、前年度比8.2%の増率となっているが、今後の見通しと、予算額と収入済額の差額が約1,200万円となった要因は。

答 保険料の推移としては、今後、団塊の世代が後期高齢者医療被保険者となることが予測され、被保険者数は増加して行く事となり、保険料総額も年々増加すると予測している。また、予算額と収入済額との差額は、被保険者一人一人の収入状況の予測が難しく、差異が生じる結果となった。

第8号議案

令和元年度東金市介護保険事業特別会計決算の認定について

問 健康寿命の延伸に向けての今後の展望と、適切なサービスの提供についての考えを伺う。

答 啓発に関しては介護予防講演会を年4回開催し、ロコモ予防に関する講話や体操、口腔や栄養に関する知識の普及に努めたところである。また、地域で生きがいや役割を持って生活することが自身の介護予防、ひいては健康寿命の延伸に繋がると考え、高齢者の社会参加にも重きを置き、その機会の場となるロコモ体操を推進しているところである。

開催日 令和2年10月27日・28日・29日・11月25日
委員長 清宮 利男
副委員長 佐久間 治行
委員 中村 美恵・坂本 賀一・上野 高志
・相京 邦彦・佐竹 真知子
・石田 明・小倉 治夫

10月27日午前中、現地視察を行う決算審査特別委員会委員



市道0152号線(広域農道)道路改良工事

第11号議案

令和元年度東金市農業集落排水事業特別会計決算の認定について

問 使用料の収入未済額が大きくなっているが、この原因は。

答 企業会計に移行したことで、打ち切り決算として3月で会計を締めしている。通常は4月5月の出納閉鎖期間の収入も含まれるが、令和元年度はそれが無いため、その差額として収入未済額が大きくなっている。

第12号議案

令和元年度東金市病院事業特別会計決算の認定について

当初、10月27日から29日の3日間での審査を予定しておりましたが、10月中旬に、東千葉メディカルセンターの運営内容に関する告発文書が関係者などに寄せられたことから、市当局からの告発内容に関する回答を受けて審査に入ろうとしたものの、回答内容が不十分であったため、審査は保留といたしました。

その後、11月5日・24日開催の議員全員協議会で東千葉メディカルセンター及び市当局より説明を受け、令和2年11月25日に第12号議案に対する審査を行いました。

問 運営費負担金のうちの運営費分について、法人においてはどのような用途に使われたのか。

答 国が示した地方公営企業繰出基準などにに基づき算出したものであり、必要経費の積上げによるものではない。また、医業収益などとともに、営業収益としてひとくくりで整理されるものであり、これを繰出基準の項目ごとに紐づけたなかで、何の支出に、どの程度充てたのかということを厳密に区分けすることは難しいものとなる。

問 東千葉メディカルセンターの運営に対する告発文において指摘等がなされていることについて、設立団体としていつまでに、どのような対応をしていくのか。

答 令和3年度当初予算の審議時期を意識したなかで、法人とともに、今回の告発文における不適切な事案に係る是正措置を行う。また、業務の執行に係るチェック機能の強化に向け、法人による内部統制の強化及び設立団体としてのガバナンスの強化に努めていく。

常任委員会における主な審査の概要

総務常任委員会

総務常任委員会は12月10日に開催されました。委員会では3議案及び陳情2件が審査され、3議案については、いずれも原案どおり可決すべきものと決定されました。また、陳情第17号については、不採択とすべきもの、陳情第18号については採択すべきものと、それぞれ決定されました。

第1号議案 東金市基本構想の策定について

問 この基本構想は市民からの意見が反映されたものとなっているのか。

答 基本構想の策定にあたっては、地区別懇談会を通じて、延べ600人以上の方々からご意見を頂いた。さらに、各種団体との意見交換会やパブリックコメントなども実施し、それらの中で頂いた意見を反映して本市の目指すべき将来像などを定めている。

問 基本構想の策定に際し、本市が持つ潜在的な能力を引き出す政策を盛り込むことが重要と考えるが、市の見解を伺う。

答 第4次総合計画では、従来の行政運営の視点に加え、「とうがね10年の経営重点戦略」を導入し、本市の特色や強みに対して投資を行い、それによって稼いだものを貯め、再投資を行うという経営的な視点を重視した施策を進めていきたい。

第9号議案 令和2年度東金市一般会計補正予算(第8号)について

問 個人番号カード事務において、今回新たにシステムが導入されるとのことだが、これによりどのくらいの効果を見込んでいるのか。

答 今回の補正予算では、個人番号カードの申請の補助のため、タブレット端末を2セット導入するほか、交付管理予約システムの導入も予定している。また、会計年度任用職員の1名増員及び住基ネット統合端末の1台増設を行い、カード交付窓口の体制を強化することで、現状、月に最大約7百枚交付をしているところを、月に千枚まで交付可能とした。

問 被災者住宅再建支援事業として1,320万円が予算計上されているが、本事業の支給申請件数は。

答 この事業は対象件数を4百件、予算規模を令和元年度と令和2年度の合計で、8,200万円としてスタートしたところである。

昨年度から令和2年10月末までの交付実績は、交付件数317件、交付額7,564万円となっている。

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は12月11日に開催されました。委員会では9議案及び陳情1件が審査され、9議案については、いずれも原案どおり可決すべきものと決定されました。また、陳情第19号については不採択とすべきものと決定されました。

第3号議案 東金市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

問 東金市立源小学校を廃止し、東金市立日吉台小学校に統合する結論に至った理由及びその経緯は。

答 源小学校の児童数が減少している状況を踏まえ、友達との関わりの中で競争心や社会性を身につける教育活動などを進める上で支障をきたすため、文部科学省が示す学校適正配置の一定基準・指針及び、東金市学校教育問題検討懇談会において示された東金市学校適正配置報告書の答申に基づき、複式学級を有する源小学校を廃止し、日吉台小学校の就学区域とする。また、平成30年1月に源地区に源小学校問題検討協議会を立ち上げていただき、協議を重ね、統合について合意形成された。

問 日吉台小学校までの通学手段であるスクールの確保は。

答 自宅から一番近い所に停留所を設けてスクールバスを運行させ、下校の際は、学年による最終下校時間の違いに対応するため2便用意し送迎する。また、日吉台小学校まで距離にして15キロ、乗車時間にして概ね40分に想定されており、これは文部科学省の概ね1時間程度を

※お知らせ

公職選挙法では、議員等は「選挙区内にある者に対し、いかなる名義をもってするを問わず、寄附をしてはならない。」とされていることから、東金市議会では、虚礼廃止を徹底すべく申し合わせています。

超えないとされている範囲内ではあるが、可能な限り通学時間の短縮に努める。

第8号議案 東金市学童クラブ設置管理条例の一部を改正する条例の制定について

問 源小学学童クラブを廃止するにあたり、現在の源地区からの児童の受け入れ状況及び職員の見積りについて

第10号議案 令和2年度東金市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

問 税制改正の内容及びそれに伴う後期高齢者医療システム改修の内容は

答 税制改正については、令和3年1月から住民税の給与所得控除及び公的年金等控除の特定控除額を一律10万円減額し、基礎控除額を33万円から43万円に10万円の引き上げを行う。また、税制改正に併せ、軽減判定所得の基準額を43万円に引き上げ、本人以外の世帯主や被保険者の内、一定額以上の給与収入や年金受給者数に合わせ10万円ずつ更に引き上げを行う。均等割額の軽減判定をはじめとした保険料額の決定は、千葉県後期高齢者医療広域連合が行うため、情報連携を行う所得・課税状況情報のデータレイアウトが変更となり、システム改修が必要となった。

第11号議案 令和2年度東金市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について

問 介護認定審査会共同設置費において、コロナ禍の中、認定審査会の回数が減少したことにより、認定結果に影響はないのか

答 認定審査会は、週1回は開催しているため、介護認定及び介護サービスの利用に関して影響はないと考えている。

第15号議案 指定管理者の指定について東金文化会館

問 指定管理者の候補者を公益財団法人東金文化・スポーツ振興財団

とした選定経緯は。東金市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例に基づき、東金市指定管理者選定審査会を計4回開催し、次期指定管理者における事業計画や収支計画、地域文化の振興と住民福祉の増進等に寄与できるか審議し評価した。

建設経済常任委員会

建設経済常任委員会は12月14日に開催されました。委員会では4議案が審査され、いずれも原案どおり可決すべきものと決定されました。

第13号議案 令和2年度東金市下水道事業会計補正予算(第2号)

問 令和2年第1回臨時会で可決した、東金市職員の給与に関する条例及び東金市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の施行に伴い、期末手当が減額となったと思うが、本議案に反映はされているのか

答 今回の補正予算については、今年4月の人事異動に伴う増減分だけであり、期末手当の改定分は含まれていない。

第14号議案 令和2年度東金市が事業会計補正予算(第2号)

問 職員数が20名から19名となっているが、職員の減少による業務への影響は

答 会計年度任用職員6名の採用を予定していたが、5名の採用となつたことから、任用職員1名の減となっている。今後、正規職員14名で賄えないものについては、業務の委託や会計年度任用職員の新たな採用などを検討してまいりたい。

問 正規職員は増やさずに、会計年度任用職員の補充で対応することであるが、ガス普及のための営業活動なども正規職員を増やさないで対応できるのか

答 現在、正規職員で営業活動などの重要な取り組みをしていることから、会計年度任用職員については、正規職員の補助をお願いすることとなる。

市政に関する一般質問

新生みらい・蒼政会は代表質問及び関連質問、その他は全て個人質問 ※正・副議長及び議会運営委員長は、申し合わせにより一般質問を差し控えることとなっています。 ※宮山議員の関連質問については、通告はありましたが、会派の持ち時間(蒼政会:100分)終了のため実施されませんでした。

福祉行政
高齢者の孤立化を防ぐ取り組みについて



新生みらい 石田 明

問 高齢者が地域社会からの孤立により、体調悪化等の緊急時に助けを求めることができず、最悪のケースに至り、その後の対応に親族が苦慮したことを聞いています。今後、高齢者の孤立化の問題は顕在化してくると思われることから、もしもの際に備え、訪問診療や往診を行ってくださる医師の存在が必要だと考えるが、市の対応について伺う。

答 高齢者の孤立化は、高齢化が進んでいく中で、顕在化してくる課題の一つと捉えています。訪問診療については、各患者に必要な計画的な処置や訪問看護指示のみの対応をする医療機関が多いことから、今後、山武郡市医師会に対し、積極的に協力を頂けるよう要請してまいりたい。

医療行政
東金九十九里地域医療センターに係る告発文に対する今後の対応について



新生みらい 清宮利男

問 刑事訴訟法第239条第2項では、公務員は職務を行うことにより犯罪があると思量するときは、告発をしなければならないと定められています。過日、地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターに係る告発文が関係者に送付されたところであるが、その指摘事項の中で犯罪行為と思われる事案に対しては、当該法人の設立団体の長である市長は告発すべきと考えるが、見解を伺う。

答 今回の告発内容に関して一部文書の改ざんなどについて犯罪と思量する事案もあり、法人と協議中である。また、指摘されている具体的な金額をもつての過剰な支払額等については現時点で整理には至っていない。なお、指摘事項の中の、業務委託について比較されている業務量や、業務形態の差異または必要性等については、十分に精査、検証を行う必要があるものと捉えている。今後、刑事事件として告発する必要性が生じた場合には当然ながら対応していくものと考えている。

産業行政
産業用地整備とスマートインターチェンジの設置について



新生みらい 土肥紀英

問 第4次総合計画や都市計画マスタープランで、県道東金源線と圏央道が交差するところを、産業拠点としての整備を行い、スマートインターチェンジを設置することなどについて位置づけることを検討しているとのことだが、市の考え方について伺う。

答 「稼ぎ・にぎわうまちを創る」ことをまちづくりの柱として掲げ、地域経済の発展を図ることを目的に、現在、第4次総合計画の策定作業を行っている。その大きな施策として、交通利便性の高い圏央道周辺に、産業用地整備とスマートインターチェンジの設置を検討しており、この2事業を進めていくため、来年度から体制の強化を図り、市の重点戦略として進めていきたい。なお、産業用地については、来年度から用地選定等の作業に取りかかりたいと考えている。

医療行政
東千葉メディカルセンターの運営に関する告発文への対応について



新生みらい 宍倉敬文

問 今回の告発内容について、設立団体による立ち入り調査の実施、また法人からの中間報告を受けたことなどが、内容について設立団体としてどう評価するのか伺う。また、地方独立行政法人法の関係規定に監事の役割が規定されており、監事はいつでも法人の業務状況を調査できると定められていると認識しており、今後は、監事の積極的な活用を図るといったことも必要であると考えているが、見解を伺う。

答 告発内容については、専門家の判断を仰いでいる部分、調査継続中の部分もあり、最終的な評価、判断といった段階には至っていない。しかし、関係規定の運用における不備や妥当性を欠く案件等もあることから、市民目線による是正の取り組みが必要であると考えている。また、監事の積極的な活用については、まずは法人内部でのチェック機能の強化、次に設立団体によるチェック機能の強化に向けた取り組みを進める必要があると認識しており、そのうえで、監事の積極的な活用といったことも必要な対応であると捉えている。

通告要旨(関連質問)

- ◇(東千葉メディカルセンターの運営について関連質問)
 - ①地方独立行政法人としての在り方について
 - ◇(告発文の調査状況及び今後の対応について関連質問)
 - ①積極的な情報公開について
 - ◇(就学前児童施設の施設管理について関連質問)
 - ①保育所、幼稚園の遊具について
 - ◇(小中学校の施設管理について関連質問)
 - ①中学校の施設管理について

通告要旨(代表質問)

- ◇市長の選挙公約について
- ◇令和3年度当初予算について
- ◇第4次総合計画について
- ◇公共交通施策について
- ◇東千葉メディカルセンターについて
- ◇保育施設、学校施設の施設管理について
- ◇高齢者の孤立化防止について
- ◇文化財について

通告要旨(関連質問)

- ◇(告発文の調査状況及び今後の対応について関連質問)
 - ①設立団体の法的な関与について

通告要旨(関連質問)

- ◇(総合計画の重点施策について関連質問)
 - ①産業用地整備とスマートインターチェンジの設置について



東金市議会事務局

市政に関する一般質問

医療行政

東金九十九里地域医療センターと設立団体の関係について



新生みらい 相京邦彦

問 独立行政法人東金九十九里地域医療センターと設立団体において、情報共有を目的に、定例会を開催していたとのことであるが、告発文の内容やその調査により、情報共有が図られていなかった事が明らかである。設立団体として、平素からのチェック体制や情報公開の点からも第三者委員会の設置を強く求めるが、当局の考えを伺う。

答 第三者によるチェック体制として、設立団体による法人の業務実績等の評価にあたっての意見を求める評価委員会を設置しているが、個々の契約などのチェックをする役割を担ってはならず、限定的なものであった。今後の改善策として、第一に法人内部のチェック体制の強化とその適切な運用、第二に設立団体としてのチェック体制の強化を図り、場合により市町の監査委員による監査という手法を検討することもある。次に第三者委員会の設置などが考えられるが、まずは、地方独立行政法人法の関係規定に則った体制での、設立団体による法人のガバナンス強化に努めてまいりたいと考えている。

通告要旨(関連質問)

- ◇(告発文の調査状況及び今後の対応について関連質問)
①東千葉メディカルセンターの経営について
②設立団体との情報共有について
③今後の独法と設立団体の関係について
◇(文化財の現状について関連質問)
①市内の文化財の調査について
②文化財の活用について

教育行政

待機児童問題の解決について



蒼政会 中村美恵

問 待機児童問題の解決には、こども園の早期設置と幼稚園での三歳児預かり保育の完全実施が重要だと考えている。安心して子供たちを預けて働きたいという保護者の保育・幼稚園ニーズに対応し、待機児童の解消に取り組むには、関係課が連携・協力して取り組むことが必要だと考えるが、市長の見解を伺う。

答 若い世代が安心して子どもを産み育てられる総合的な環境づくりを進めることは、重要施策の一つとして掲げており、待機児童の問題についても、取り組むべき課題と認識している。待機児童解消の取り組みとして、保育・幼稚園ニーズの受け皿を確保しつつ、幼児期の教育から小学校教育へ円滑に接続できる教育・保育の提供を目指した幼保再編の取り組みを進めているところである。引き続き、関係部局が連携・協力して、待機児童問題の解決、子育て環境の改善に取り組んでまいりたいと考えている。

通告要旨(関連質問)

- ◇(待機児童の現状について関連質問)
①幼稚園の預かり保育について
②幼稚園の給食について
◇(産後ケア事業の現状について関連質問)
①産後ケアの今後の取り組みについて

産業行政

産業用地整備計画について



蒼政会 宮沢敬人

問 次期基本構想において、スマートインターチェンジの建設構想とともに、源地区内の圏央道周辺での産業用地整備を進めていくとのことだが、産業用地整備の現状と、今後のスケジュールについて伺う。

答 産業用地については、平成30年度に千葉東テクノグリーンパークの分譲が終了し、市内の産業用地が不足している状況であるが、産業用地を探している企業からの問合せは続いており、需要を実感しているところである。さらに、令和6年度の圏央道全線開通により本市における道路交通の利便性が向上し、企業にとっては魅力的な立地条件となっていくものと考えている。こうした状況の中、本市としては来年度から体制の強化を図り、産業用地整備を市の重点戦略として進めていきたいと考えている。今後のスケジュールとしては、来年度から用地選定等の作業を行い、令和4年度以降に民間事業者が用地取得や造成、企業への分譲を行った際に事業の採算性が確保できるかどうかの調査を行っていきたいと考えている。

通告要旨(関連質問)

- ◇(スマートインターチェンジ建設構想と市内各地域との整合性について関連質問)①スマートインターチェンジ建設構想について ②産業用地整備計画について
◇(有害鳥獣等対策の現状について関連質問)
①関係団体との連携について ②今後の課題について ③ジャンボタニシへの対応について

一般行政

スマートフォン決済アプリによる納税について



蒼政会 伊藤博幸

問 東金市のLINEシステムでは、セキュリティの問題などから、公的書類の申請手続きなどはできない状況であるとのことであるが、スマートフォンでQRコードやバーコードを読み取り、自宅などから納税を行うことができる取り組みを進めている自治体もある。スマートフォン決済用アプリを利用することによって納税は可能であると考えているが、このような取り組みを行う考えはあるのか伺う。

答 LINEの機能を活用した納税方法として、LINE E Payというアプリケーションを用いた、電子マネーによるキャッシュレス決済といった方法がある。この納税方法については、近隣では白子町、長柄町が本年度から導入をしているところである。コロナ禍においては、自宅などから納税が可能となる非対面での納税方法は、新しい生活様式といった点からも有効であり、納税者の利便性も向上すると考えられることから、電子マネーによる納税方法の導入に向けた検討を行っているところである。

通告要旨(関連質問)

- ◇(コロナ禍における市民生活の取り組みについて関連質問)①イベント等の開催の可否の基準について ②「新しい生活様式」の考え方について
◇(SNS等を利用したコミュニケーションについて関連質問)①アカウントの管理方法及び個人情報漏洩対策について ②行政サービスの依頼の取り組みについて ③公的書類発行申請等の今後の取り組みについて ④「とうがねわくわく子育て応援団」について

医療行政

東千葉メディカルセンターに関する告発文の真相究明について



日本共産党 前田京子

問 東千葉メディカルセンターの運営に関する不正の内報告発文では「委託会社への過剰な支払いは年2億5千万円、直近1年間だけで、5億円を優に超える被害が発生している」とされている。今回、告発文で指摘されている不正の背景には、地方独立行政法人法の制度的な問題があると考えており、調査については、第三者委員会を設置し、病院全体の被害額も含めて内容を明らかにすべきである。

また、病院の機能充実と地域医療の発展の為、千葉県が運営を担うべきであると考えているが市の見解を伺う。

答 告発文で指摘されている被害額については、被害額という形で捉えることが妥当なのかという整理も必要である。今後は、設立団体として、地方独立行政法人法の規定に基づき、法人内部の監査機能の強化、設立団体によるチェック体制の強化を図り、法人と共に健全経営に努めてまいりたい。また、千葉県の運営に関し、今後も千葉県と密に情報共有を図り、連携してまいりたいと考えている。

通告要旨(個人質問)

- ◇東千葉メディカルセンターについて
◇新型コロナウイルス感染症について
◇災害情報の伝達について
◇水道料金について

問 コロナ禍以前より、日本経済はデフレにより疲弊をしており、コロナ禍で更なる影響を受けることとなった。様々な自治体の税収減少についての報道がなされているが、コロナ禍の影響による本市の市税減収をどのように見込んでいるのか伺う。

答 現時点で、コロナ禍による市税の減収額を正確に見込むことは非常に困難な状況である。過去の事例として、平成20年のアメリカの金融機関の経営破綻がきっかけとな

通告要旨(代表質問)

- ◇令和3年度予算について
◇空き家バンクについて
◇コロナ禍における市民生活の取り組みについて
◇SNS等を利用したコミュニケーションについて
◇第2次都市計画マスタープランについて
◇コロナワクチン予防接種について
◇出産及び子育て環境の充実について
◇農業振興施策について

3

市政に関する一般質問

福祉行政

児童虐待のないまちづくりについて



議友会 佐久間治行

問 児童虐待について、昨年度は過去最大となる19万数千件の報告、相談がなされたとの報道があった。こうした状況の中、児童虐待をなくすためには、「人に優しいまちづくり」が大切であると考えられる。これは一朝一夕にできるものではないが、児童虐待をなくすための本市の取り組みについて伺う。

答 「東金市児童虐待防止のための活動指針」において、児童虐待の早期発見、早期対応のみならず、発生予防に向けた取り組みを行うことが重要であると定めてい

具体的には、子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠や出産、子育てに関する様々な相談に応じている。また、子育てに不安を感じているなど支援が必要と思われる方々を早期に把握し、継続して相談に応じるなど、妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施し、発生予防に取り組んでいく。

通告要旨(個人質問)

- ◇「育児サポート制度」の導入について
◇児童虐待防止対策について
◇次期総合計画について
◇空き家対策について
◇耕作放棄地対策について
◇圏央道大栄・横芝光間開通時の産業振興対策について

一般行政

防犯灯の維持管理は市の財政負担で



日本共産党 櫻田あや子

問 市民から、防犯灯設置の要望が届いている。防犯灯を設置すると、区の電気代の負担が増えるので設置したくないとの話も以前から聞いている。防犯灯は、当該地区だけではなく、通行する方々の安全を守ることになる。

答 防犯灯については、市がLED灯に付け替えられたことにより、従前は各区が行っていた電灯器具の交換が不要となつて、各区の負担軽減が図られていくと認識している。電気料金、設備費、周辺の樹木管理等を区と市が互いに分担しながら、安全で安心なまちづくりを進めていきたい。

また、防犯灯は各区の要望により設置され、当該地区の方々の安全に寄与するものであるから、地域の方々にもご負担いただくものと考えている。

通告要旨(個人質問)

- ◇コロナ禍での高齢者の見守り体制について
◇介護保険制度について
◇子育て支援について
◇防犯対策について
◇第3次東金市総合交通計画について
◇就学援助制度について

農林行政

農地基盤整備の今後の計画について



令和会 塚瀬一夫

問 市内では基盤整備の検討を進めるため経営体への集積や関係地権者の調査を自主的に進め、千葉県の事業により現況調査を行った地区もある。

現在「農地中間管理機構関連農地整備事業」と「経営体育成基盤整備事業」が主な整備手法で、どちらも地元負担が生じることは理解しているが、市の負担も必要となる。

すぐに整備に向けての予算化は難しいと思うが、せめて将来に向けての計画を示していただきたいと考える。そこで、今後の基盤整備事業についてどのように考えてまいりたいと考えている。

通告要旨(個人質問)

- ◇新年度予算について
◇農業振興について
◇林業振興について
◇ごみ処理施設について
◇現行ごみ処理施設について
◇下水道事業について

医療行政

東千葉メディカルセンターの運営に関する告発文に係る調査について



社会民主党 水口 剛

問 地方独立行政法人法第3条において、法人による業務の公共性、透明性及び自主性がうたわれているが、この自主性が、今回の告発文で不正とされている事象の温床となっていると考える。

告発文で指摘されている事象について、その内容が事実であった場合、それに伴う被害額といった整理がされることと理解するが、刑事事件として告発するといった考えはあるか伺う。

答 告発文で指摘等されている、具体的な金額をもつての過剰な支払い額などについては、現時点で整理には至っていない。委託料などの妥当性の確認をするには、例えば、他社の見積もりとの比較、購買契約に関しては定価や流通価格との比較などで妥当性の確認ができるものと考えている。

通告要旨(個人質問)

- ◇介護保険について
◇新型コロナウイルス感染に対する行政について
◇東千葉メディカルセンターについて

一般行政

結婚新生活支援事業について



公明党 佐竹真知子

問 現在の少子化の要因として、未婚化や晩婚化の進展、出生率の低下等が挙げられるものと考えられる。こうした中、地方自治体が行う結婚に対する取り組みや、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくりやその機運醸成の取り組みに、対し国が支援する、「地域少子化対策重点推進交付金」を活用して、地域の少子化対策のための事業を推進している自治体もある。

結婚に伴うスタートアップに係る経済的負担の軽減のため、本補助金を活用し新婚世帯への支援を行うことについての本市の見解を伺う。

答 本市でも少子化が進行している中で、婚姻率の上昇は少子化対策に一定の効果があるものと考えている。結婚、妊娠、出産、育児の一貫した切れ目のない支援の実施を目指す中で、先進自治体の事例を参考に事業効果などを検証して、「地域少子化対策重点推進交付金」などの活用について、検討していきたいと考えている。

通告要旨(個人質問)

- ◇SDGsの推進について
◇少子化対策について
◇消防団支援について
◇通級指導教室について
◇東千葉メディカルセンターの運営について
◇ヤングケアラーについて
◇感染症の予防接種について

一般行政

人口減少社会における3世代同居について



公明党 布施満明

問 近年、人口の減少に加えて、3世代同居の世帯数も減少してきている。しかし、コロナ禍で地方が見直されている現在、子育て支援の観点からも3世代同居、また近居が重要であると捉えているが、当局の見解を伺う。

また、近隣自治体では、世代間で助け合うことで、子育ての負担軽減になることなどから、3世代同居や近居を支援する取り組みを始めているが、本市もそのような支援を行う考えはあるのか伺う。

答 3世代同居については、子世代は親世代から子育てのサポートを受けやすく、また、親世代で介護が必要になった場合には、世帯内でサポートや見守りをしやすい環境にあることなどから、それぞれの世代にメリットがあるものと考えている。また、県内の複数の自治体で3世代同居や近居を条件に住宅取得等に補助金を支給し支援していることは認識しており、本市としても、まずはそのような先進自治体の取り組みを参考に事業効果等を検証して、検討していきたいと考えている。

通告要旨(個人質問)

- ◇GIGAスクール構想について
◇校務支援システムについて
◇人口減少対策について
◇自治体のデジタル化について
◇介護支援ボランティア制度について
◇フレイル予防策について

※紙面の都合上、一般質問の一部について要旨を掲載しています。詳細については、図書館及び市役所情報公開コーナーにて「会議録」の閲覧、または、東金市ホームページより会議録検索システムでご覧ください。(3月上旬発刊・掲載予定) 会議録検索のホームページアドレス http://ssp.kaigiroku.net/tenant/togane/pg/index.html

◆ 令和2年第1回臨時会 ・ 第3回定例会(継続審査) ・ 第4回定例会 表決結果一覧 ◆

賛否が分かれた議案等

※結果欄の意味は次のとおりです。 「○」=賛成 「×」=反対 「可」=可決 「認」=認定 「採」=採択 「不」=(決算認定議案について)不認定、(陳情について)不採択 ※議長(小倉 治夫 議員)は議案の表決に加わりません。		結	布	中	宮	前	伊	土	坂	上	相	佐	櫻	清	前	佐	水	石	小	宍	塚	渡	石	宮	賛
議案	件名	果	施	村	沢	嶋	藤	肥	本	野	京	久	田	宮	田	竹	口	田	倉	倉	瀬	辺	崎	山	成
番号		明	恵	人	英	幸	英	一	志	彦	行	あ	利	京	真	剛	明	夫	文	夫	樹	一	博		

第1回臨時会

1	東金市職員の給与に関する条例及び東金市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	欠	○	欠	○	○	×	○	×	○	×	○	×	×	欠	○	○	○	欠	12
2	東金市特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	欠	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	16

第3回定例会(継続審査)

5	令和元年度東金市一般会計決算の認定について	認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	欠	○	○	○	○	16
6	令和元年度東金市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	17
7	令和元年度東金市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	16
8	令和元年度東金市介護保険事業特別会計決算の認定について	認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	16
9	令和元年度東金市介護予防支援事業特別会計決算の認定について	認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	17
10	令和元年度東金市下水道事業特別会計決算の認定について	認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	16
11	令和元年度東金市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	16
12	令和元年度東金市病院事業特別会計決算の認定について	不	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	1
13	令和元年度東金市ガス事業会計決算の認定について	認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	19

第4回定例会

1	東金市基本構想の策定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	18
2	東金市税外収入に係る延滞金の徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	20
3	東金市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	18
7	東金市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	20
8	東金市学童クラブ設置管理条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	18
9	令和2年度東金市一般会計補正予算(第8号)について	可	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	17
15	指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	20
16	指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	20
陳情第17号	「日本政府に核兵器禁止条約の参加・署名・批准を求める意見書」提出を求める陳情	不	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	7
陳情第18号	国に対し、「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の提出を求める陳情	採	×	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	12
発議案第3号	刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書について	可	×	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	12

全出席議員が賛成又は反対した議案等

第4回定例会

議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
4	東金都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	13	令和2年度東金市下水道事業会計補正予算(第2号)について	可
5	東金市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可	14	令和2年度東金市ガス事業会計補正予算(第2号)について	可
6	東金市公共下水道区域外流入分担金の徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	17	令和2年度東金市一般会計補正予算(第9号)について	可
10	令和2年度東金市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可	陳情第19号	画家あすなろ絵画工作室のアイデア 新型コロナウイルスの集団感染を防ぐため、東金の対策に関する陳情	不
11	令和2年度東金市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について	可	発議案第1号	病院運営の適正化に関する調査特別委員会の設置について	可
12	令和2年度東金市介護予防支援事業特別会計補正予算(第1号)について	可	発議案第2号	東金市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可

令和2年度議会報編集委員会

(委員長) 上野 高志 (副委員長) 土肥 紀英
 (委員) 布施 満明 宮沢 敬人 櫻田 あや子

当編集委員会では「とうがね市議会だより」を通じ、市民の皆様へ議会活動をよりわかりやすくするため、紙面づくりに励んでおります。議会だよりに関するご意見・ご感想をお寄せください。

問合せ先:0475-50-1181